

# 伊集院保健所感染症情報

2026年第9週（令和8年2月23日～令和8年3月1日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

## 定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：インフルエンザ， 伝染性紅斑

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID），小児科1，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第6週	第7週	第8週	第9週	先週からの増減	第8週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	222.50	176.00	174.50	83.50	↘	87.21	↘
インフルエンザ	30	10	10	139.00	126.50	96.50	38.00	↘	42.95	↘
COVID-19	—	—	—	0.50	0.00	0.00	0.00	→	0.33	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	1.16	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	5.00	8.00	3.00	6.00	↗	2.65	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	7.00	4.00	8.00	11.00	↗	8.19	↗
水痘	2	1	1	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.13	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
伝染性紅斑	2	1	—	1.00	1.00	1.00	2.00	↗	0.61	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.19	→
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.00	3.00	0.00	0.00	→	0.87	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

## TOPIC 県内（肝属郡）で今年1例目のマダニが媒介するSFTS

（重症熱性血小板減少症候群）患者が報告されました。

SFTSは、2013年に国内で初めて患者が確認されてから、2020年まで毎年60～100名ほど報告されていました。2021年以降は、毎年100名を超える患者が報告されており、2025年は過去最高の183名（2025年11月2日現在）が報告されています。

### 【感染経路・症状】

SFTSは、ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。また、SFTSを発症している動物との接触による感染やヒト→ヒト感染事例（2024年3月、患者→医療従事者）もあります。

症状は、6日～2週間程度の潜伏期後、発熱、消化器症状（食欲不振、吐気、下痢等）、時に頭痛、筋肉痛、呼吸器不全症状、出血症状（紫斑、下血）が出現します。日本での致死率は27%です。

### 【予防対策】

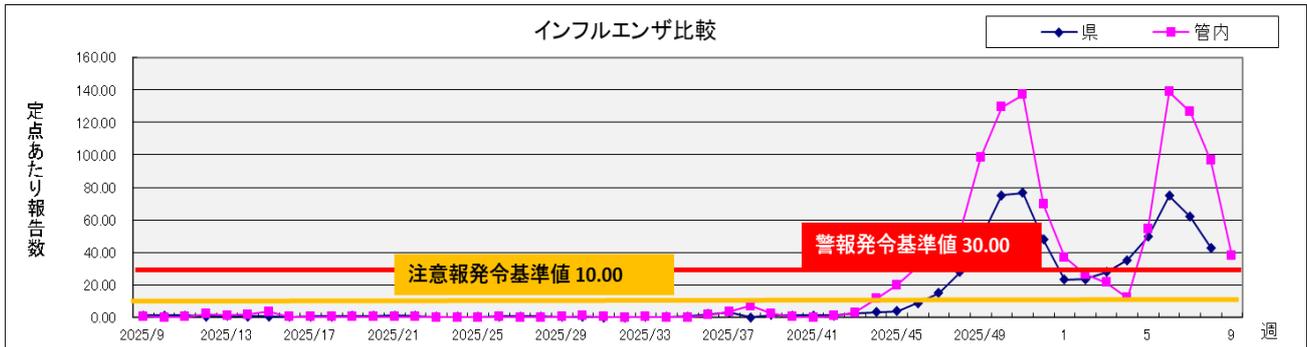
犬、猫、人も1番はマダニに咬まれないようにすることです。登山やキャンプ、また犬の散歩等で山林、草むら、藪などに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくするようにしましょう。吸血中のマダニに気付いたら無理に引き抜かないで、医療機関で処置してもらいましょう。

詳細 →



## ● 注意すべき感染症

### ・インフルエンザ（流行発生警報発令中）

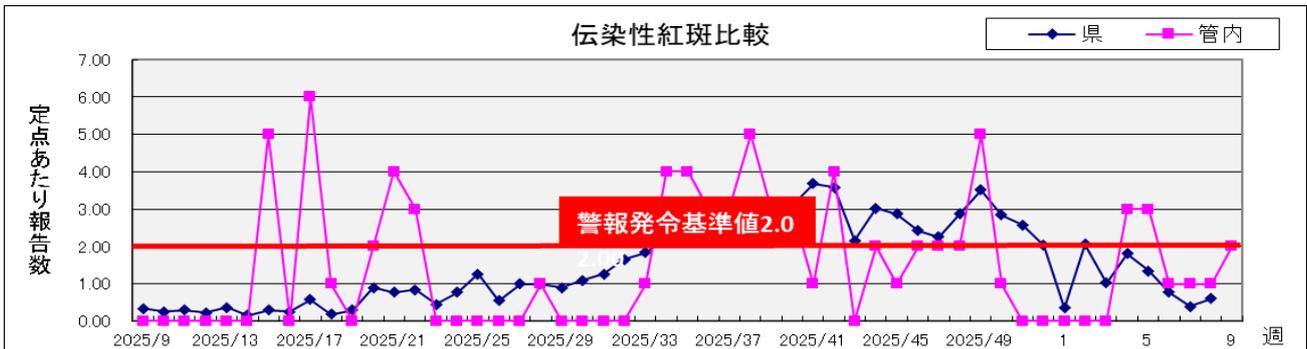


第9週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、8週の193人(定点当たり96.50)から117人少ない、76人(定点当たり38.00)です。年齢別では、10～14歳(19人)、4歳(14人)、7歳(8人)、5歳・9歳(各7人)、3歳(6人)、2歳(5人)、6歳(3人)、1歳・8歳・15～19歳(各2人)、6ヵ月～11ヵ月(1人)でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

### ・伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第9週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、2歳・7歳(各1人)定点当たり2.00でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹(紅斑)が現れます。発疹は1週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

### ○学校における感染症による出席停止の状況2/23～3/1(出典:学校等欠席者・感染症情報システム)

今週は、インフルエンザが91人(型不明63人、B型28人)、感染性胃腸炎2人、溶連菌感染症1人が報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフル エンザA型	インフル エンザB型	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症
日置市	63	0	17	2	1
いちき串木野市	0	0	11	0	0
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	63	0	28	2	1